

議会報告会実施報告書

開催日時	平成30年4月21日 19時00分 ～ 20時30分
開催場所	松山公民館
出席議員	(班長) 東山光徳 (司会・記録) 若杉輝久 (説明) 野角満昭 (班員) 植條敬介・楠井常夫・大前寛乗 (副議長) 斉藤義明
参加市民数	30人 (男性20人, 女性10人)
実 施 内 容	議会報告
	質疑応答
	<ul style="list-style-type: none"> ・開会挨拶 ・出席議員紹介 ・予算の概要及び新規主要事業・審議内容の概要 ・質疑応答 ・意見交換会 ・閉会挨拶 <p> 〈質疑〉 ふるさと納税について、寄附額は。 〈回答〉 これまで本市には4～500万円の寄附があった。昨年、JTBと提携して、カードでも納付できるようになるとともに、返礼品も充実させた。その結果9千万円近くの寄附があった。 〈質疑〉 地元の人が寄附しても返礼品を貰えないと聞いたが。 〈回答〉 ふるさと納税の趣旨が市外の方から寄附していただくというものなので、地元の方は返礼品を貰うことができない。 </p> <p> 〈質疑〉 資料の中身が分かりにくい。良い悪いの基準を示してほしい。例えば、ごみ袋の問題も何%減量できればごみ袋を何円にするといった基準があれば分かりやすい。検便についても何回行うのが正解なのか分からない。次回から配慮してほしい。 〈回答〉 ごみ袋に関して、従来は市が無料で実施してきた。小泉内閣の時に地方の財政を助けるために有料化してもよいという法律を作った。全国では無料でやっているところも本市のように有料化しているところもある。価格設定が高ければ高いほど、ごみ袋をあまり使わないようにするため、ごみの排出量が減ると考えている。委員会でも議論してきたが、有料化前と比較して安定的に2割削減されれば、値下げを検討するとしている。実際は人口減少による排出量の減少なので、もう少し待ってくれという話になっている。 検便の件は、配送事業に従事する者が月2回。幼稚園、保育所の給食担当の場合は毎月提出するようになっている。法律的なことは調べて </p>

		<p>みないと分からない。</p> <p>〈質疑〉 そういった趣旨の質問ではない。</p> <p>〈回答〉 いかにも市民の方に分かりやすく説明するかということは議論している。基準については、我々は議会ですべて議論しているので当たり前になっていたことも事実である。良いご指摘をいただいたので、今後よりわかりやすい説明、資料作成を心がけていく。</p> <p>ごみ袋の件で補足だが、本市には最終処分場があり、リサイクルプラザがある。皆様のご協力があって、環境センターもこれから先何十年も延命化が図れている。ひとつの自治体でこれだけの施設が整っているのは珍しい。お支払いいただいているごみ袋の料金は負担になっているかもしれないが、そのおかげで様々な施設の運営が可能となっている。今後ごみの減量化についてはご協力いただきたい。</p>
--	--	---